

《青年白書会計に関する中期計画》

青年白書とは

青年白書とは「青年運動全般および全国的青年連絡組織の広報をすることで、ユネスコ青年運動を広く理解してもらうこと」（青年白書に関する制度より）を目的とした、全国的青年連絡組織（以下、全青連）が発行する刊行物。編集委員会を組織して、企画・作成する。

青年白書2015発行の成果

- ◇300部以上配布できた
 - ニーズがあることが分かった
- ◇コンテンツへの意見をもらった
 - テストマーケティング的な役割も果たせた

今後の青年白書発行について

今回限られた期間で準備・発行したにもかかわらず成果を上げられたので、もっと時間をかけて、配布対象者の検討や、取材を行う等内容の充実を図れば、編集委員会とネットワーク強化のためのチーム、それぞれの活動の相乗効果により、広報だけではなくコミュニケーションの増加によるネットワーク強化や地域活性化に寄与できる可能性がある。

- 2016年度は準備期間とし、2017年度に発行したい。

2年に1度発行し、寄付を募る（1口1000円で1冊配布）ことで、青年白書事業を継続できるだけの資金を確保しつつ、どの程度資金を有効活用できるか試算。

- 次ページ試算表参照

自己資金で一定量の青年運動活性化のための活動を持続的に展開できると考えられる。

2016年度は活動方針（資料3-1）に基づき、相乗効果を狙うことを前提に、ネットワーク強化に関する特別会計への振り替えを行う（資料3-4、3-6）。

資料3-5

印刷製本費を10万円とし、作成した青年白書全てが配布できたと仮定する。

300部の規模を維持するときの試算

単位:円

勘定科目	摘要	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
<収入の部>						
繰越金	前年度繰越金		360,026	185,026	278,026	183,026
寄附金		334,912		300,000		300,000
その他		135,400				
合計		470,312	360,026	485,026	278,026	483,026
<支出の部>						
印刷製本費	青年白書印刷製本費	75,400		100,000		100,000
通信運搬費	青年白書送料等	14,454	5,000	15,000	5,000	15,000
会議費	青年白書編集委員会会議費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
その他	消耗品など	432		2,000		2,000
振替額	一般会計への振り替え		50,000	50,000	50,000	50,000
	ネットワーク強化への振り替え		100,000	20,000	20,000	20,000
合計		110,286	175,000	207,000	95,000	207,000

発行規模を700部に拡大するときの試算(700部のうち200部を学校等で配布)

単位:円

勘定科目	摘要	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
<収入の部>						
繰越金	前年度繰越金		360,026	185,026	373,026	183,026
寄附金		334,912		500,000		500,000
その他		135,400				
合計		470,312	360,026	685,026	373,026	683,026
<支出の部>						
印刷製本費	青年白書印刷製本費	75,400		100,000		100,000
通信運搬費	青年白書送料等	14,454	5,000	30,000	10,000	30,000
会議費	青年白書編集委員会会議費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
その他	消耗品など	432		2,000		2,000
振替額	一般会計への振り替え		50,000	50,000	50,000	50,000
	ネットワーク強化への振り替え		100,000	110,000	110,000	110,000
合計		110,286	175,000	312,000	190,000	312,000